

2016 教育カウンセリング講演会 in 秋田

時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ ～コミュニケーション能力を育む～

今に生きる子どもたちの育て方を
一緒に考えてみましょう！



名城大学大学院

大学・学校づくり研究科



曾山和彦

2016.2.14

人とのかかわり不足の 子どもたち

オニの心を生む
背景はこれ！



- 環境の変化
- 情報化、スピード化(3つのスクリーンの罪)
 - 三間(時間、空間、仲間)の消失
 - 核家族化 等

昔に比べ、人とのかかわり不足の子どもたち

かかわり場面で時々「オニの心」(曾山)が

自分勝手な振る舞い、わがままな行為 他



2

人とのかかわり不足が生む問題 1

- 子どもたちの自尊感情が低下している



Self-esteem

自己評価の感情(遠藤)。自分自身を価値あるものとする感覚であり、他者(身近な大人、友人等)の評価により育まれる

どうせ、ボクは



自分自身のみならず、他者の受け入れも困難

いじめ、不登校、気になる子の問題に影響

3

実は、教師の 自尊感情も

教師に限らず、「大人」と
読み替えてみましょう



OECDの「国際教員指導環境調査」(2013年、34カ国・地域)の結果、日本の中学校教員の勤務時間が最長であることが明らかになった。
さらに、日本の教員は自己評価も低い。

自分にOKと言えない人は、他者には尚更OKとは言えない。
自分を大切にできない人は、他者は尚更大切にできない。
だからこそ、自尊感情(自己評価の感情)を大切に！
頑張っている自分に「OK」と言おう！

4

人とのかかわり不足が生む問題 2

- 子どもたちの社会性が弱まっている



ソーシャルスキル

(人づきあいのコツ、技術)(河村)



2極化した行動(諸富)
相手を消す(いじめ)か、自分が消える(不登校)

通常学級における気になる子の問題がクローズアップ

5

互いを大切にできる子どもを育てる

- 自分にOKと言えなければ、他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできなければ、他者は尚更大切にできない → 自尊感情を育もう！
- 他者とかかわる技術・コツがなければ、他者を大切にできない → ソーシャルスキルを育もう！

今、子どもは「自分にOK」と言えていますか？
他者とかかわる技術・コツを身につけていますか？



どちらも人とのかかわりの中でしか育たない
人が人になるには人が必要

子どもは大人から愛されれば愛されるほど非行から遠ざかる

6

「愛する」=「言葉を伝える」 大前提 ～子どもとの関係の糸を紡ぐ～

- 関係が弱い相手とは「つくる」、関係が難しい相手とは「つくりなおす」。共に関係づくり

関係づくりの第一歩は
相手への関心から

「何が好きなんだろう?」「何が得意なんだろう?」
「いいところは何だろう?」、等々

< 演習 > 子どものリソース(資源)探し

コミュニケーションとは^(多田)

- 訳; 伝達、連絡、通信

「意思や感情の伝え合い」&「人と人とのかわりづくり」
伝える力・関係をつくる力が「コミュニケーション能力」

コミュニケーション能力の基盤に
「聴く力」があり。広く捉えれば、
「聴く力」もコミュニケーション能力



8

「話の聴き方」チェック

～傾聴; 全ての理論、技法を超えた基礎・基本～

9

コミュニケーションに関する学生の声 ～「聴く力」～

- 人の話を聴くときに、頷きやあいづちをうつことで印象がまったく違うことを知ることができた。
- 相手の話を聴くことに徹することの大切さを、繰り返し学んだ。
- 先生に学んだ、「あの人が頷くだけで出る勇気」という言葉をこれからずっと忘れずにいようと思った。
- 講義を通して、日常生活でも友だちの悩みを聴くとき、「まずは話を聴く」ことができるようになり、自分の成長を感じた。

10

コミュニケーションに関する学生の声 ～「伝える力」～

- 僕たちの名前を覚えようとしている。
- 「ありがとう」をよく言ってくれる。
- 「話にくい」と言われ、悪いことをしたと思う。
- 幸せそうに話すので私も幸せになる。
- 私が元気になる言葉をかけてくれる。

「伝える力」とは、相手に伝わる言葉のかけ方次第！



11

あなたが、「よい子 & 気になる子」にかける言葉は？

廊下のゴミを自ら拾い、捨ててくれた
「よい子」のAちゃんにあなたがかける言葉は？

周りが静かにしているのに、ずっとしゃべっている
「気になる子」のB君にあなたがかける言葉は？

< 私の言い方 & 失敗 >

・プラスもマイナスも共通した言い方 →

・「褒めて育てる」という落とし穴 →

思春期の子どもには、特に伝わりにくい言葉のかけ方

12

「思春期」を理解する

かつて私たちも乗った
「大揺れの船」です



- 疾風怒濤期；身体や心の変化・成長に戸惑う
- 第二の誕生（心理的離乳）；親からの自立

< 私の失敗 >

思春期の子どもを担当していた頃、子どもに「挑発」され、
「揺れている船」に一緒に乗り込んで「沈没」

「揺れている船」に乗っている子どもが時に海に投げ出される。
その子どもを助けに行く大人（親、教師）でありたい

「泳力・浮き輪」= 知識・理論・技法が必要

13

伝わる言葉の「番付表」

- カウンセリング理論により、
伝わる言葉を整理

なじむ理論を
使いましょう！



伝わる言葉の「番付」がある！

東の横綱；いいところ探し
西の横綱；対決アイメッセージ
東の大関；リフレーミング
西の大関；例外探し



東の横綱； いいところ探し

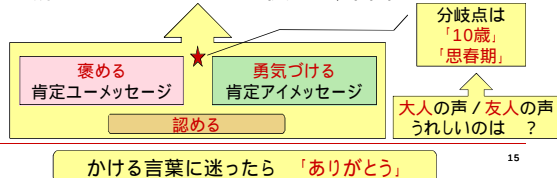
当たり前のような
ことでもOK！



- まずは、子どもの「いいところ」を探し、貯める

例；帰宅後、すぐに宿題を済ませるA男

- 貯めた「いいところ」を使って、言葉をかける



15

西の横綱； 対決アイメッセージ

おしゃべりなB男を
叱るには？



行動

相手の**行動**について伝えよう

影響

どんな**影響**を受けているか伝えよう

感情

Un-Happyな**感情**を伝えよう

東の大関； リフレーミング

捉え方をチェンジ！



宿題が半分までしか終わっていない
子どもを見て

まだ、できないの？ < 禁句 >

(年齢に応じて)

17

西の大関； 例外探し

「問題」ばかりを
見過ぎていませんか？



うまくやれていること(例外)はきっとある

「うざい！」と言う
暴言が「問題」

「お母さん、あのね」と
言う丁寧語が「例外」

なぜ、「例外」が生まれた？
(例外の責任追及)

- ・「ごはんの前に一緒に遊んだから」
- ・「ゆっくりと話を聴いたから」

支援のヒントがここにある

私たちは「問題」が100%のように思いがち

18

コミュニケーションに関する学生の声 ～「関係づくりの力」～

- 先生の講義を受け、それまでの目指す教師像、授業像が大きく変わった。高校数学の先生の授業は厳しく、一方的で、でも正確性があり、論理的な解法を説明してくれるものだったし、ある意味でその授業に憧れていた。しかし、今では、先生のように周りとの関係をつくる授業に憧れている。
- 「関係づくりの第一歩は相手への関心」。この言葉を学んでから、相手に興味をもつこと、また、自分の心を開いていかねば相手の心には響かないと意識するようになった。先生の講義で学んだことは、確実に今後の大学生活で生きてくると確信した。

19

私が今、最も薦めたい！ 子ども同士の関係づくり実践

- 関係づくりの「花火」を打ち上げる

週一回程度の短時間グループアプローチ

- 「花火」の火を灯し続ける

各教科等の授業におけるペア・グループ活動

聴く＆伝える＆関係づくり = コミュニケーション能力
特に、ソーシャルスキルへのアプローチ！



20

依佐美中の実践

～「よさっぴタイム」と「よさっぴトーク」～

私が4年間、共同研究
に携わった学校です



<よさっぴタイム>

SGEとSSTのねらいを統合した短時間グループアプローチ。各学級、毎週1回、月曜日の5時間目の前、10分間を活用して主に担任が実施。3つのルール；「お願いします＆ありがとう」「うなずいて聴く」「指示をしっかり聴く」にのっとり、4人グループで行うことを基本。

<よさっぴトーク>

各教科等の授業中に取り入れる小グループでの話し合い活動。友だちが話す（刺激）→うなずいて聴く（反応）の結びつきを強める手段（「強化」という）として、また、構成された「よさっぴタイム」以外でも、自然な形でうなずくことができるようになる（類似する他の刺激に対しても反応が生ずるようになる＝般化）というねらいをも含んだ活動。

2016年2月 「王道ステップ ワン・ツー・スリー」（文溪堂）として発刊！

21

ソーシャルスキル・トレーニング(SST; social skill training) ～教えることがなじむ技法～

- SSTは行動の教育

してみせて、言ってみせて、させてみて
ほめてやらねば 人は動かじ

<基本展開>

1. インストラクション（言語指示）
2. モデリング（示範）
3. リハーサル（実行）
4. フィードバック（評価）

演習；アドジャン

ねらい；挨拶、話の仕方（〇〇です）、
話の聴き方（顔き、視線、表情等）

22

構成的グループ・エンカウンター(SGE; structured group encounter) ～教えることがなじまない技法～

SGEは感情の教育

・「〇〇に気づいた、〇〇を感じた」等、個々の気づきをうながす。

演習；アドジャン

ねらい；自己理解

23

「教える」or「考えさせる」ことで ソーシャルスキルを育む



- 道徳性（大人に委任→自分で判断）、友人・母親関係（母への同調→友人への同調）が質的に変化する10歳前後（川島）
- 思春期

教えがなじむ時期に徹底して教えたいソーシャルスキル
「オニの心」が強くなる前に教える
「境」を超えると「オニの心」が強くなる。その前に！

10歳までは「教える」 10歳からは「考えさせる」

24

ソーシャルスキルのベース理論

学んでいない(未学習)なら学ばばいい
間違って覚えている(誤学習)なら学び直せばいい



行動理論
人は性善説でも性悪説でもない
「白紙」
お望みとおりの人間に育ててみせる(ワトソン)

25

まずは「型」の習得から

□「個性を捨てろ、型にはまれ！」(三田)



アシスタント志望学生が、「個性、自分らしさ」を口にする。
しかし、はじめは「型」の習得に専念させることが大切。
型がある程度身についた後に自分の色がつき始める。

イチロー選手がはじめから
「イチロー打法」を身につけていたわけではない！

私の卓球も、合気道も みな、同じ

26

例え気持ちが伴わずとも 「型」の習得には意味がある

□「行動が感情をつくる」(W.ジェームズ)



ジェームズは、「悲しい(感情)から泣く(行動)」のではない。
泣く(行動)から悲しい(感情)のだ」と述べた。口になじむほど
「ありがとう」と言っていると、感謝の気持ちがやがて湧く

日に用いて知らず



27

今、子どもにも 自分にも伝えたい言葉

自尊感情への
アプローチ



□「自分の一番の応援者は自分」

□「あなたはあなた、私は私。だけど、もし私たちが
お互いを必要としているなら、それは素晴らしいこ
と。しかし、もしそうじゃなければ、それはそれで仕
方がないこと」(パールズのゲシュタルトの祈り)

□「幸せだから笑うのではない。笑うから幸せ」
(アランの幸福論)

本日の最終演習「いいところ四面鏡」

28

まとめ；子どもの「オニの心」を鎮め、 よりよい「人」にする

□ アンテナ(ルール違反&遵守)を2本立てる

□ あきらめずに言葉をかける(花はいつか)

□ かける言葉を貯めておく

子どもを育む大人として
お互い、学び続けていきましょう！



29

お読みください！



主な参考・引用文献

- 「21世紀に必要なコミュニケーションとは」、児童心理2005年7月号、多田孝志、金子書房
- 「心を伝える技術」、國分康孝、PHP
- 「幸福論」、アラン、岩波書店
- 「個性を捨てろ、型にはまれ」、三田紀房、大和書房
- 「発達を考えた児童理解・生徒指導」、川島一夫、福村出版
- 「時々、「オニの心」が出る子どもにアプローチ学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「時々、「オニの心」が出る子どもにアプローチ友になる子に伝わる言葉の「番付表」」、曾山和彦、明治図書

HP「KAZU・和・POCKET」

30